Nakano City

資料4

中野駅新北口駅前エリア
（区役所・サンプラザ地区）
再整備事業の概要

Nakano City

再整備事業の概要

再整備事業の概要

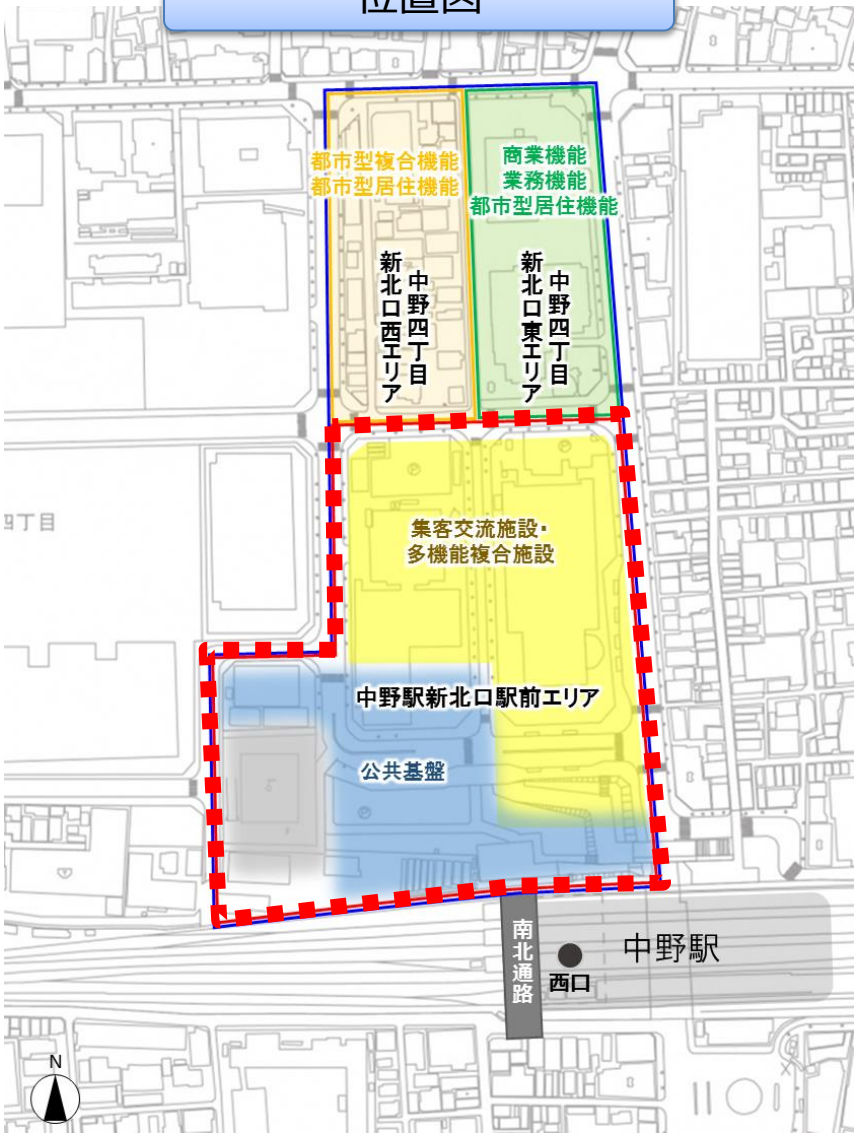
○再整備事業の趣旨

　中野駅新北口駅前エリア（区役所・サンプラザ地区）は、中野駅周辺の顔となるエリアとして、東京の東西を結ぶ立地特性を最大限に活かし、グローバルな都市活動拠点の形成や地域経済の活性化に寄与する再整備を推進。

○再整備事業関連の動き

◆区役所新庁舎を現体育館及び南側敷地に移転整備。
◆現庁舎及び中野サンプラザ敷地、新北口駅前広場を一体的に整備。
◆現庁舎用地等の活用により、新庁舎整備の財源を確保。
◆中野駅西側南北通路及び橋上駅舎整備により、新たな改札が開設予定。
◆事業着手に向け、整備の概要や事業手法、都市計画、整備スケジュール等を示した再整備事業計画を平成30年度に策定。

位置図



Nakano City

再整備事業の考え方

【再整備事業のコンセプト】

グローバルな拠点性強化をけん引

中野におけるグローバル都市づくりの核として、まちの魅力や利便性、快適性、収益性など価値を高め、人・文化・産業・情報の源泉となる多機能複合施設を整備し、グローバルな拠点性強化をけん引。

大規模な集客交流施設

中野サンプラザホールがこれまで果たしてきた役割や積み重ねてきたブランド性を活かしながら、世界を視野に入れた集客と発信を可能とする大規模集客交流施設（最大収容人数１万人を目標）へと再整備。

周辺地区との回遊性を重視した機能配置

グローバル都市の骨格形成を目指し、当地区における都市活動拠点整備を契機に、中野駅や駅前広場との機能連携や周辺地区との回遊性を重視した機能配置を実現。

【機能配置の考え方】

土地の有効利用を図る大街区化

中野区役所街区と中野サンプラザ街区における敷地の一体的利用と公共基盤の再編を図る大街区化により今後の中野のシンボルとなる多機能複合施設を実現。

中野駅と再整備施設との機能連携

中野駅や駅ビルとの機能連携により、にぎわいの相乗効果を生み出し、来街者の周辺地区への回遊を促すとともに、施設そのものの収益性を向上させるため、中野駅西側南北通路に直結するよう多機能複合施設、集客交流施設を配置。

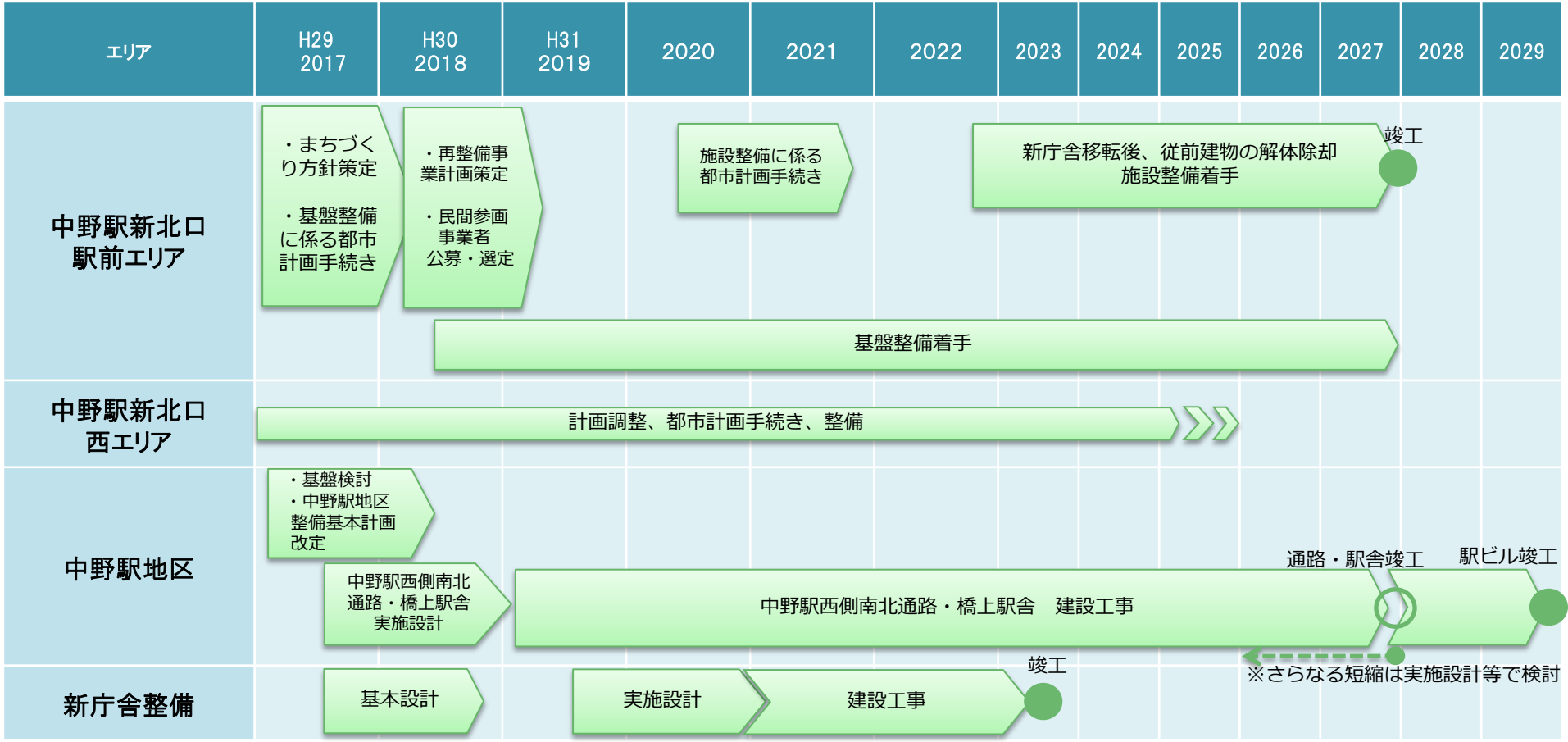
周辺一帯の交通機能が向上する公共基盤配置

区役所・サンプラザ地区再整備範囲を超えた周辺地区への影響を踏まえながら、周辺一帯の交通機能が向上するよう、公共基盤配置を計画。

Nakano City

再整備事業の展開

■中野四丁目新北口地区まちづくり方針で示した２０２７年度を目標に再整備事業を推進。
■現在は再整備事業計画を検討。他の計画との整合を図りながら、民間参画事業者を選定。



集客交流施設の考え方

集客交流施設の考え方

集客交流施設とは、コンサート、イベント、会議などの催事を開催できる会場及び付帯施設のことをいう。アリーナのほか、カンファレンス、バンケットなどの施設を想定。歩行者滞留空間としてオープンスペースを確保し、にぎわい創出の場としても活用。

本事業における集客交流施設の考え方

- 多種多様なニーズに応えるため、複数の集客交流施設の設置を誘導。
- そのうち、最大規模のものとして、中野サンプラザのホール機能を発展させ、より集客力と発信力があり、多目的に使える集客交流施設を計画。
- 最大収容人数1万人を目標とし、コンサートのほかスポーツイベントや展示会などにも使用できるよう、アリーナ（平土間）部分を組み込んだ施設を想定。

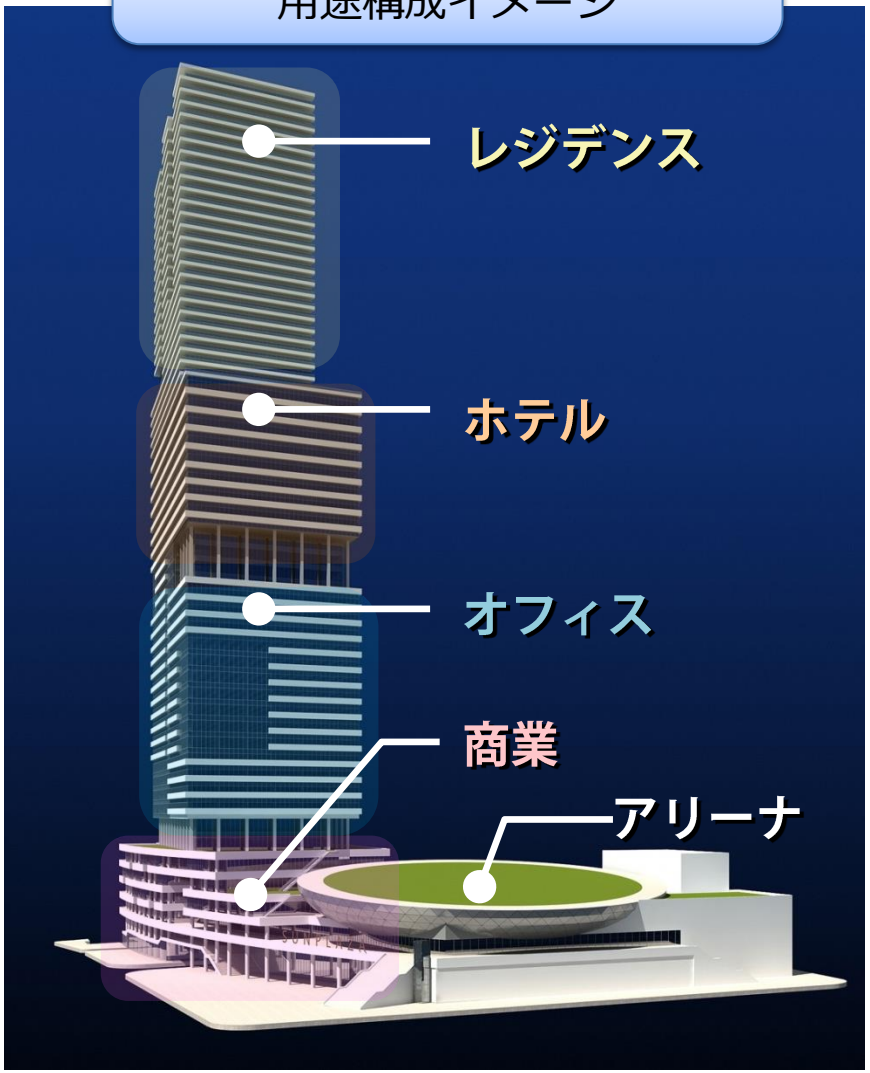
アリーナ検証事項

◆大規模集客交流施設の配置、形状、周辺への影響
◆集客交流施設に係る催事の市場動向
◆採算性を考慮した施設設計と運営形態
◆多機能複合化に伴う効率性や機能性、親和性
◆市場動向を踏まえた具体の機能配分、規模
◆建物や床の権利関係整理　など

Nakano City

機能配置イメージ
（事業協力者提案内容）

用途構成イメージ

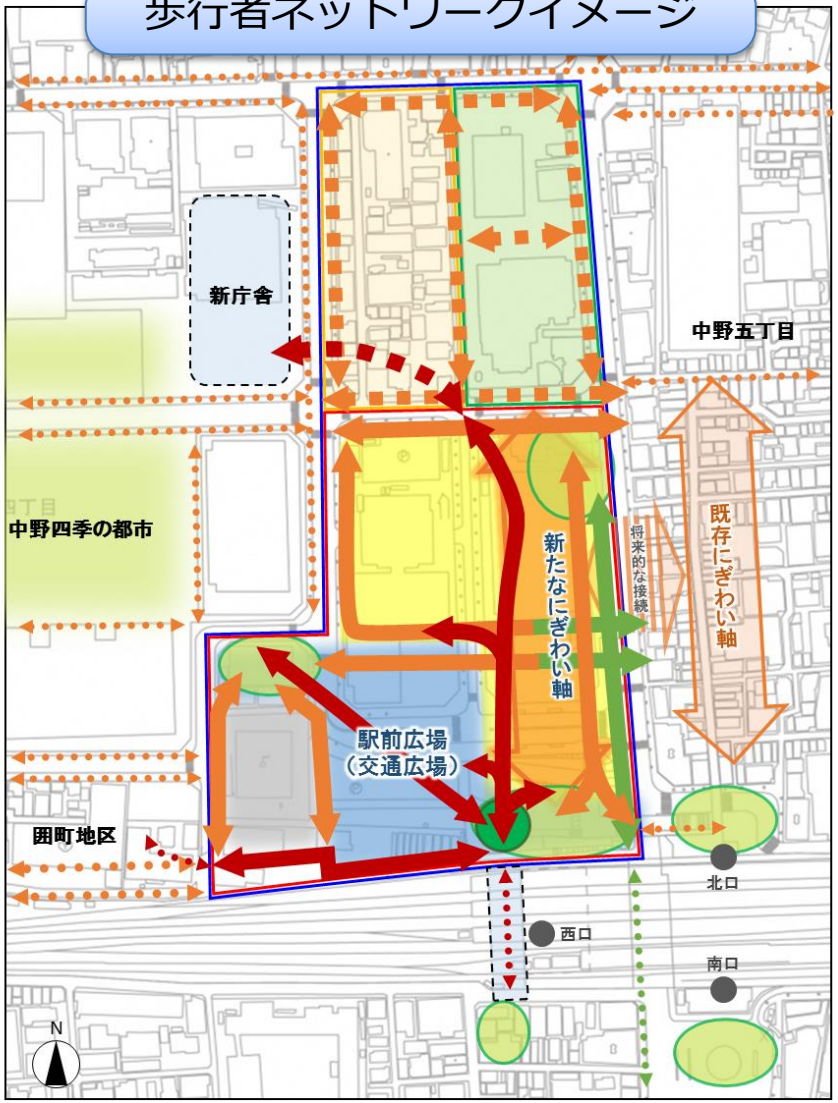


施設配置イメージ

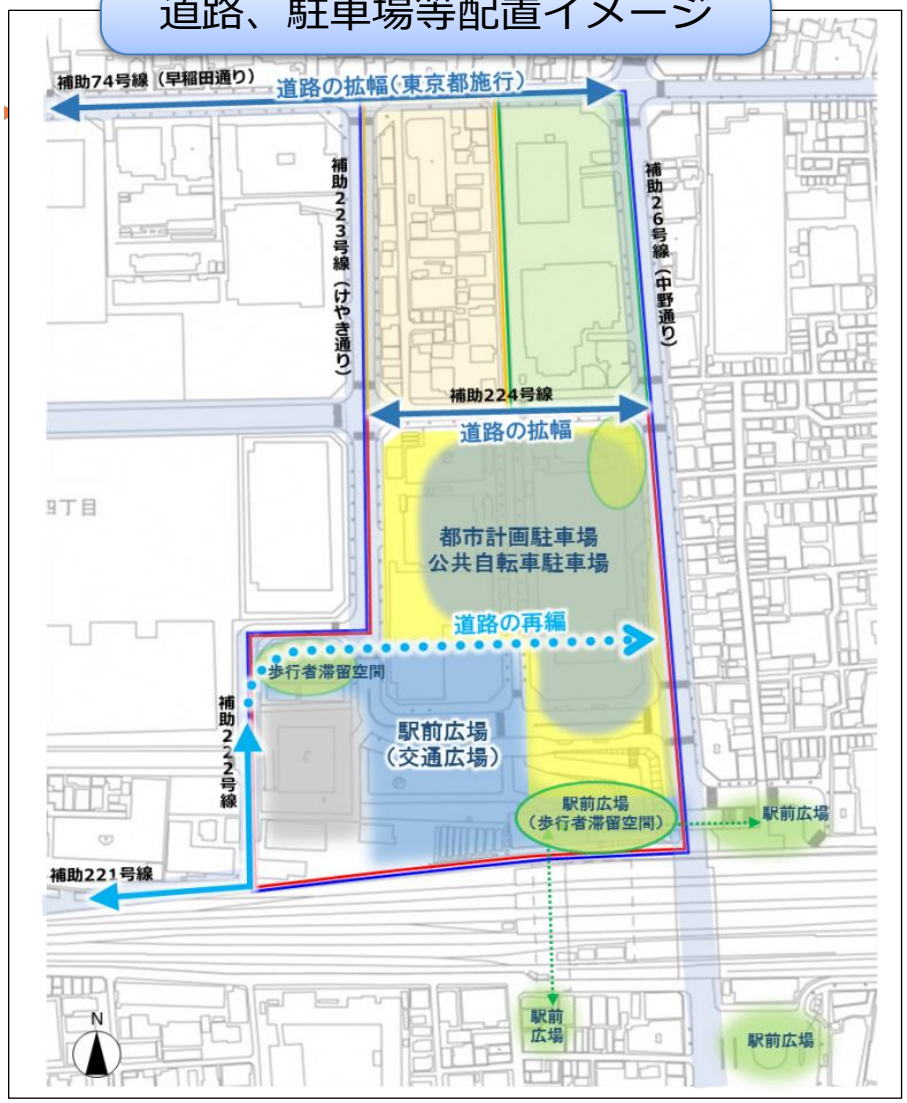
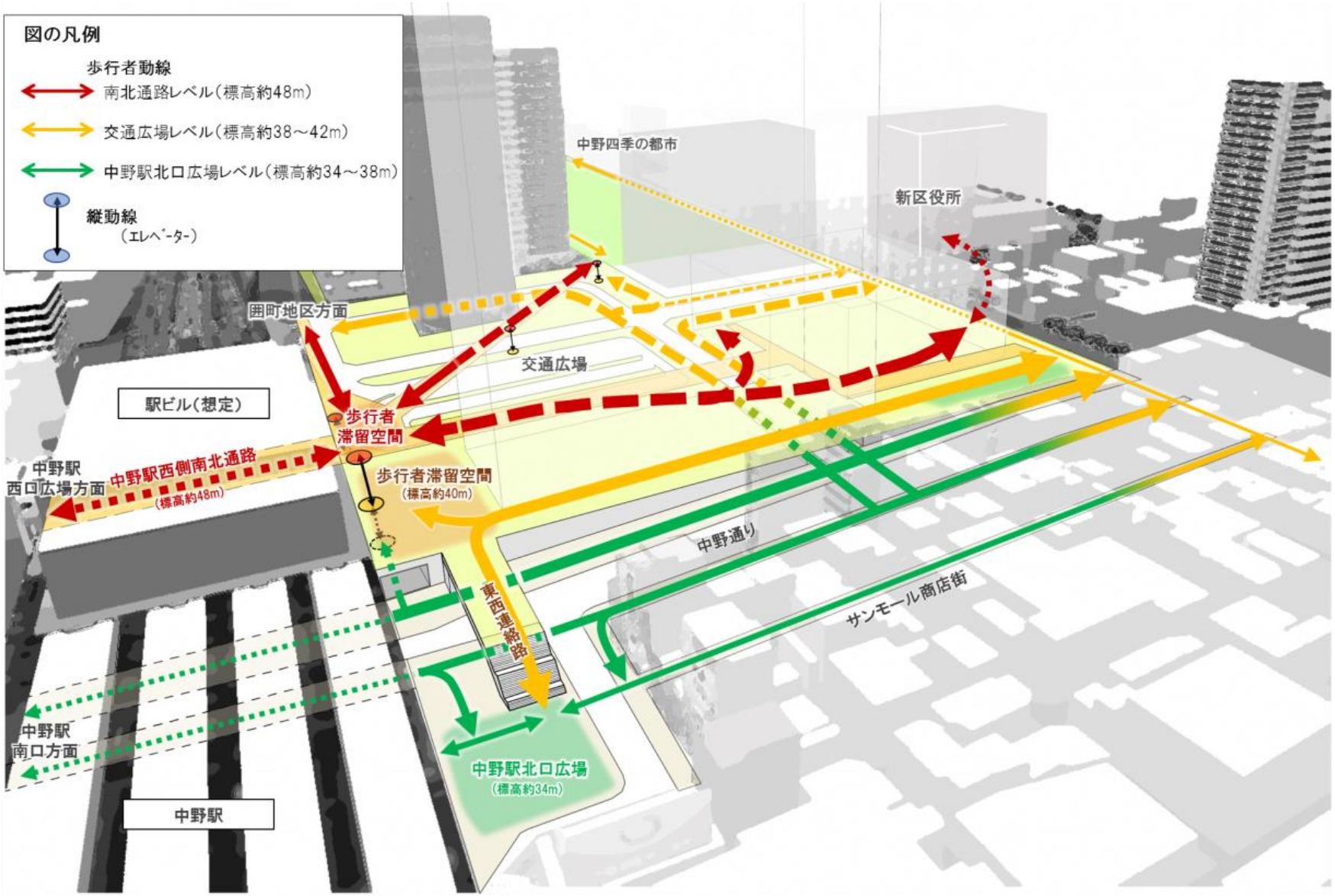
Nakano City

交通ネットワークイメージ

歩行者ネットワークイメージ



道路、駐車場等配置イメージ



歩行者ネットワークイメージ